

静かに進行し、急激に悪化する恐ろしい病気 ~ COPD(慢性閉塞性肺疾患)

COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは、息をする時の空気の通り道となる肺の気道に障害が起こり、**呼吸する力が失われていく進行性の病気です**。初期の COPD では軽い息切れや咳・痰など、ありふれた症状しかないために早期発見が遅れてしまい、症状に気付いて受診した時には重症化している場合も少なくありません。病気が進行すると、息苦しさのために歩行困難に陥ったり、酸素欠乏のために全身の臓器障害が現れます。世界保健機関(WHO)の統計では世界の死亡原因の第 4 位にランクされ、今後ますます高まることが予測されています。また、**COPD によって破壊されてしまった肺は、決してもとに戻ることはありません**。現在のところ、COPD を根本的に治す治療法はありません。しかし、早期に診断を受け治療を開始すれば、呼吸機能の低下を食い止め、健康な人と変わらない生活を続けることができます。COPD という病気で苦しまないために、また、少しでも早く気付いて病気を進行させないために、まずはこの病気について知ることが大切です。

1. COPD の症状



咳や痰が毎日のように続いたり、階段の上り下りなど体を動かしたときに息切れを感じたりします。ありふれた症状のため、年齢のせいと放置してしまいがちですが、咳・痰・息切れは呼吸器の病気の特徴的な症状です。

健康であれば、咳や痰が毎日続いたり、歩いただけで息切れをすることはありません。

2. COPD に罹りやすい人は?

なんと言っても**第一の原因は「喫煙」**です。COPD は別名「タバコ病」と言われるほど、喫煙者に多い病気で、患者さんの 90%以上は喫煙者です。また、喫煙者の周囲にいる人は、タバコを吸っているのと同じかそれ以上に有害物質を吸い込む危険性があり、非喫煙者であっても COPD に罹りやすいことがわかっています。

喫煙以外にも、大気汚染や職業的な塵埃や化学物質も原因になります。



3. COPD の検査と診断

COPD は問診と簡単な検査で診断できます。問診では、喫煙歴、息切れや咳・痰などの自覚症状の有無を確認します。検査は胸部 CT 検査、呼吸機能検査(肺活量検査)などを行います。いずれも痛みなどの苦痛はない楽な検査です。

4. COPD の治療

治療の中心は禁煙と薬物療法となります。何と言ってもまずは禁煙することが治療の第一歩です。当院では保険診療での禁煙外来を行っておりますので、ご相談ください。薬物療法は主に症状を和らげるために行います。また、必要に応じて運動指導や栄養指導、さらには在宅ケアとしての在宅酸素療法を行っています。

**当クリニックでは COPD の検査・治療を積極的に行っています。
お気軽にご相談ください。**